



国民の森林・国有林

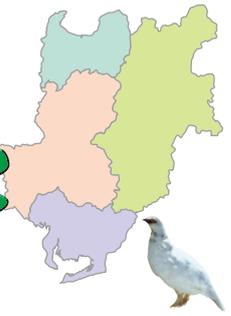
林野庁
中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



12月号

メールマガジン登録で本誌記事や観光情報のデジタル版を毎月お送りします。
登録サイト：<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



11月の見どころ聴きどころ⑩ー野沢温泉スキー場 やまびこゲレンデはたっぷりの雪です（撮影12月13日）
（ペンネーム スキー同好会さんからの投稿）

主な項目	○ 本局のトピックス（「ブランド材を用いた新たな洋風パーティションコンペの表彰式」を実施ほか）…………… P1
	○ 各地からのたより（地域住民と大正大学生が国有林の現場を見学ほか）…………… P3
	○ シリーズ「ご当地自慢」（南信森林管理署 大城山）…………… P5
	森林でのお仕事紹介コーナー
	☆「森林官からの便り」（与川森林事務所）…………… P6
	☆「森林・林業界からの便り」（白鳥林工協業組合）…………… P7
	☆「林業土木業界からの便り」（株式会社 内山組）…………… P8
	○ 1月の見どころ聴きどころ…………… P9

〈本局のトピックス〉

「ブランド材を用いた新たな洋風パーティションコンペ」の表彰式

【資源活用課】

当局では、木材の安定供給とブランド化の取組を進めています。なかでもA材のブランド化については、新たな木材需要の開発とともに重点的に取り組んでいます。

このたび、「ブランド材を用いた新たな洋風パーティションのデザインコンペ」を実施したところ、地元長野県をはじめ、関東から九州、遠くは海外在住の方から、五十一名の応募があり、高校生からデザイナー、一級建築士など幅広い分野の方による独創性あふれる素晴らしいデザインをいただきました。

十一月二十日、中部森林管理局において表彰式を行い、「ミス日本みどりの女神」の竹川智世さんには、審査員兼プレゼンターとして花を添えていただきました。また、審査委員長の船曳鴻紅さんからは、審査の講評がありました。受賞作品は以下のとおりです。

「kagerou」 馬場英実さん

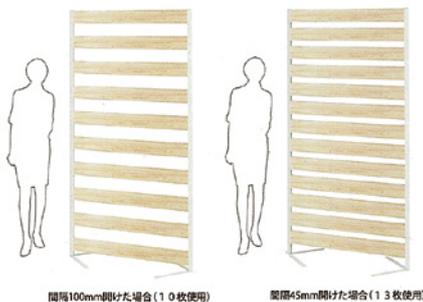
(東京都、KLOP一級建築士事務所)

市松模様が立体的に浮かび上がるルーバーパーティションの提案です。見る方向により密度が変化し、視線の抜けを制御できるルーバーの利点に加え、その変化過程において、市松模様が陽炎(かげろう)のように浮かび上がり、立ち消えることで、空間にダイナミズムを与えることを意図しました。



オフィス部門
グランプリ 中部森林管理局長賞

「スキマで遊ぶパーティション」 北條雅治さん (群馬県、会社員 (株トヨダプロダクツ))



間隔100mm開けた場合(10枚使用)

間隔45mm開けた場合(13枚使用)

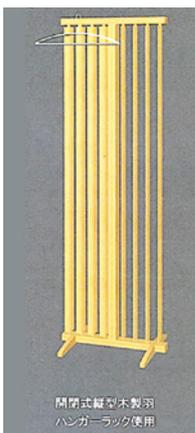


「Mountain range」

矢島章亜さん (東京都、家具設計・デザイナー)

オフィス部門
準グランプリ

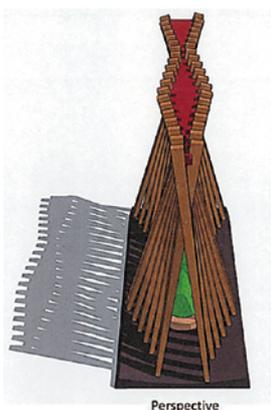
「Tail」 坂根和昭さん (東京都、インテリアデザイナー)



開閉式縦型木製羽
ハンガーラック使用

アパート・マンション部門 入選

「variable-louver partition」 永田麻由子さん (奈良県、眉山山デザインスタジオ)



Perspective



「yorisoi」 野村恒司さん
(東京都、建築設計 (鹿島建設))

オフィス部門 入選

各受賞作品の詳細はこちらをご覧ください。



国有林野の所在する市町村長と 連絡協議会を開催

【企画調整課】

中部森林管理局では、地域社会と国有林野事業の連帯強化を図るため、「国有林野等所在市町村長有志協議会」（以下、「有志協」）を昭和五十二年から管内各地区に設置しています。十一月二十七日、中部森林管理局の会議室で、管内十地区の有志協の代表市町村長が集まる連絡協議会を開催しました。

連絡協議会は、六月に開催した飛騨地区から十一月に開催した南信地区まで、管内十地区で開催してきた各地区の有志協の集大成の場であることから、市町村長から国有林への思いをしっかりとぶつけていただくべく、今回から会議時間を二時間から三時間に拡大しました。

林野庁から出席した関口業務課長と木暮施工企画調整室長から、林政の最近の動向について説明を行い、各市町村長からは、来年度から始まる森林経営管理制度や森

林環境譲与税（仮称）に関する意見や要望が多く寄せられました。意見交換の場では、新たな制度が円滑に導入され、山村部の森林整備や地域振興に資するものとなるよう、国有林と地元市町村が連携して取組を進めていくことを確認しました。

会議では終始活発な議論が行われ、予定の三時間を超過したものの、各市町村長からは「会議が一時時間長くなって、発言や意見交換がしっかりとできて良かった」との声も寄せられ、貴重な意見交換の機会とすることができました。



連絡協議会の様子

コンテナ苗の普及と定着に 向けて育苗技術研修会に参加

【森林整備課】

十一月二十八日、「当年生カラマツコンテナ苗生産技術研修会」が長野県山林種苗協同組合、長野県、長野県林業総合センター及び当森林管理局の参加により長野市内の種苗生産者の苗畑で開催されました。

コンテナ苗の生産には通常複数年を要しますが、生産技術等の進展により、育苗期間が一年以内のコンテナ苗（以下「当年生苗」という）の生産も行われていることから、今年度から長野県山林種苗協同組合でもその生産に取り組んでいます。

研修会では、苗木生産者から春及び秋播種により、約一年間で出荷規格にまで育苗する方法等について説明を受けた後、実際の試験育苗の状況を確認しながら検討を行いました。水分や施肥の管理、植え替えのタイミング、冬期管理等について活発な意見交換が行われました。



カラマツコンテナ苗の畑で説明を受ける参加者

当年生苗は、苗木生産性の向上、残苗リスクの減少等においてメリットがあるとともに生産者の経営安定に役立つので、本年度から当局管内の国有林で当年生苗の植栽を行い、その後の成長等のデータ収集・分析を行い、苗木の安定供給に役立つ当年度苗の導入について検証等を行っています。

当局では、管内におけるコンテナ苗の使用割合を平成二十六年の三〇％から四年で倍増させており、今後とも関係機関と連携し、生産者に対する講習会や研究機関への協力を通じて、育苗技術や生産性の向上と安定供給に向けた取組を進めていきたいと考えています。

〈本局のトピックス〉

地域住民と大正大学生が 国有林の現場を見学

【東濃森林管理署】

十月十八日、地元住民等を対象とした国有林野事業現場見学会を行いました。

これは、普段は見ることでできない国有林内の事業現場を見ていただき、地域住民の理解を深めていただくため、地元「つげちまちづくり協議会」と連携を図り、地域住民八名と付知町に研究に訪れていた「大正大学地域創生学部（東京都）の教授・学生」九名に参加いただき実施しました。

当日は、署内会議室で、昨年、執り行われた、伊勢神宮式年遷宮御用材伐採「斧入れ式」のDVDを鑑賞し、その後、国有林の事業現場へと向かい、「木曾ヒノキ備林」、治山事業及び生産事業の現場を見学しました。

事業現場で参加者からは、「林業の機械化の現状を見て、機械化がここまで進んでいるとは」と驚きの声や、また備林では、「普段は入ることができない地元の山の



木材生産の現場で、驚きながら説明を聞く参加者

魅力を感じることができて良かった」との声が聞かれました。

見学を終え、大正大学の学生からは、「普段は東京にいるため、これほど森林の奥へ入ったことがなく、大変貴重な体験ができました」といった感想が聞かれ、「今後、東京に帰り、報告会等で森林の魅力伝えていきたい」との決意をいただきました。

当署としては、来年度に向けて、地元住民が林業や森林に対し関心を持ち、地元の国有林の魅力や理解を深めていただくことができるよう、今後も同様の取組を進めていきたいと考えています。

「森林ボランティア・NPO連帯推進会議」

「森・ふれあいフェスタ」を開催

【木曾森林ふれあい推進センター】

十月二十六日、二十七日の二日間、長野県北安曇郡松川村において「森林ボランティア・NPO連帯推進会議」を、ボランティア団体代表による実行委員会の主催、中部森林管理局の後援で開催しました。

中部森林管理局管内で活動する森林ボランティア団体やNPO法人が一堂に会し、互いの交流や、市民参加型のワークショップを実施するイベントの開催を通じ、資質の向上と連携強化を図るとともに、一般市民の皆さんに、国民参加の森林づくりへの理解や森林環境教育の重要性をPRすることを目的に開催しているもので、九団体と局署職員併せて三十六名が参加しました。

一日目の開会式では、松川村長及び中信森林管理署長が挨拶、開会式後は松川村と中信森林管理署が「多様な活動の森における活動に関する協定」を締結している



ミニイス作りを楽しむ親子

「あがりこサワラの森」まで移動し、松川森林事務所森林官等から、現地の概要等の説明等聞き、あがりこサワラを実際に見て見識を広めました。

二日目は、松川村役場に隣接したリリンパークにおいて「森・ふれあいフェスタ」を開催しました。

ミニイス作りや木工細工など十個のブースを設営し、訪れた一般市民約二百二十名の方々に、様々な体験を楽しんでいただき、多くの親子連れから、「楽しかった」との声が聞かれました。

二日間を通して参加したボランティア団体の皆さんとの充実した連携・交流の場となりました。

民・国連携で

森林総合監理士等会議を開催

【技術普及課、岐阜森林管理署】

十月三十日から三十一日の二日間、中部ブロックの民有林・国有林森林総合監理士等の技術、資質の向上を図ることを目的に、森林総合監理士等連携会議を、五県（愛知、岐阜、滋賀、静岡、長野）の民有林関係者二十四名、中部森林管理局職員十五名が参加し、岐阜県との共催で岐阜県美濃加茂市及び七宗町において開催しました。

今回は人工林が本格的な利用期を迎えるなか、「主伐・再造林の取組」をテーマに事例紹介や現地視察等を行いました。

全体会議では、中部局担当者から伐採と造林を一貫して行う作業システム等の低コスト化の取組、岐阜県及び下呂農林事務所担当者から岐阜県における主伐・再造林について説明がありました。また、岐阜県内で主伐・再造林に取組んでいる(有)根尾開発から、「主伐・再造林への課題、取組」と題

〈各地からのたより〉

して、社有林や分収林での事例、岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアムでの二ホンジカ被害対策、広葉樹の整備・活用などについて、課題等も交えて説明がありました。

現地視察は、七宗国有林において、二ホンジカ対策試験地の各種防護柵などの説明、伐採・造林一貫作業実行箇所での作業システム等について説明を行いました。

二日間の会議では、活発に質疑応答や情報共有などがされ、参加者からは「数々の事例紹介があり参考になった」などの意見も聞かれ、参加者同士の情報共有、技術・知識の向上を図る良い機会となりました。



参加者集合写真（伐採造林一貫作業箇所）

生産性向上プロジェクト会議を

モデル事業地で開催

【愛知森林管理所】

十一月二日、生産性向上プロジェクト会議を、設楽町段戸国有林のモデル事業地において開催しました。

担当者から、事業概要および事業実行前の会議で出された改善事項である定性間伐と列状間伐毎の生産性目標の算出について、実行事業体の新城森林組合より現場で



高性能林業機械による一連の作業を見学

検討・改善した森林作業道路網線形等について説明を受け、続いて、実際に行っている作業システムや使用している高性能林業機械の説明を受けながら、集造材・玉切・運材の一連の作業を見学しました。

今回の会議は多方面（愛知県林業関係機関、名古屋大学、設楽町、国土防災技術(株)名古屋支店、新城森林組合、丸兼林業(有)、(株)緑豊、関東局天竜森林管理署、中部森林管理局）からの参加があり、意見交換では、国土防災技術(株)から無人航空機の空撮を活用した、本数抽出精度検証の事例収集と進捗管理の可能性の検討、名古屋大学からは森林情報解析等の説明があり、その他にも様々な質問や意見が出されました。

今年度の愛知所の生産性向上プロジェクトは、林業事業体へ広がっていくことを目的としているところですが、今回参加した事業体から、機械や設備、人員配置の工夫点など、多くの意見や感想が出され、事業者間の刺激になったものと思います。



天竜川沿いの辰野町市街と大城山（中央）



長野県上伊那郡辰野町の大城山おうちよやま（一、〇二七トシ）は、伊那谷の北部に位置し、JR中央本線の岡谷駅、塩尻駅、JR中央本線支線の辰野駅に囲まれた辰野町市街地より位置しています。



現地詳細位置図

一九八三年七月に塩嶺トンネルが開通し、岡谷駅から塩尻駅へ通行することとなったため、辰野駅は、中央本線のメインルートから外れましたが、秘境駅で有名な飯田線の起点駅であることから鉄道ファンには人気の駅です。

大城山は、日本の地理的中心ゼロポイントがあることで知られる山でもあり、辰野町や伊那谷の眺望の良さでも人気があります。

大城山のビューポイントは辰野町の市街地より林道を上ること約十分、舗装道路から脇に入るダートな道を五〇〇メートル程登った先に、整備された駐車場と展望スペース



日本中心のゼロポイント看板と石柱

が現れます。眼下に広がる辰野町の市街地と天竜川が伊那谷に沿って遠く伊那市以南まで流れていく眺望は、開放感にあふれ時間が経つのも忘れてしまいます。

また、天竜川を中央に、右は中央アルプス、左は南アルプスの山々に挟まれたV字形の雄大な地形をいつもと違ったアングルで見ることが出来ます。

駐車場にある日本中心ゼロポイントの道標に導かれ、山道の歩道を歩くこと二十分、大城山の山頂の北約一キロの所に日本中心のゼロポイント。北緯三六度〇〇分〇〇秒と東経一三八度〇〇分〇〇秒が交差する地点であることを説明する看板が現れます。その隣には日本地図に経緯度線を刻んだ円



※アクセスは、中央道、伊北インターより約十五分。



展望台

筒形のモニュメントがあり、石柱に日本中心のゼロポイントの文字が刻まれています。

駐車場から車で十五分ほど離れた地点に「日本中心の標」が立てられていて、併設された展望台からは、北アルプス、美ヶ原、八ヶ岳、南アルプスが望める三六〇度のパノラマを楽しむこともでき、山岳ドライブと散策が気軽に楽しめます。

【森林でのお仕事紹介コーナー（農林水産省林野庁）】

りんやちよう

もり

国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。

そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。



【南木曾支署 与川森林事務所】
森林官 目黒 雅大

与川森林事務所は、長野県木曾郡南木曾町に所在し、南木曾国有林約三、五〇〇鈔を管轄しています。



摺古木山方面から南木曾岳方面（写真左側）の展望

南木曾国有林は、木曾川の左岸、木曾山脈南部の摺古木山（二、一六九メートル）の麓に位置しています。面積の約四五%が人工林で、そのうち約六五%がヒノキ林。地形は、全般に急傾斜地が多く、南木曾岳

（一、六七九メートル）の西斜面は特に急峻で、地質は風化侵食が進んだ花崗岩地帯となつています。また、南木曾町の年間降水量は多い年には三千ミリに達します。



新設された治山ダムの一基

こうした地形・地質や気候によつて、南木曾町では過去から土石流による被害が数多く発生しており、地元では土石流の事を「蛇抜け」と呼んで恐れてきました。最近では平成二十六年に大規模な土石流災害が発生し、南木曾国有林でもこの災害に関連して治山ダム五基の新設と二基の補修を行いました。再度の災害防止事業を実施しました。

森林事務所としても災害に強い森林作りをしていく必要があり、



リンロンテープの巻き作業

森林の持つ保全機能を発揮させるため、保育間伐を中心とした森林整備を計画しています。また、管内ではツキノワグマとニホンジカによると思われるヒノキの剥皮被害が発生しており、リンロンテープ巻き等の獣害対策に力を入れて取り組んでいます。

南木曾国有林が所在する与川地区には、歴史を感じることできる見所がいくつかあり、その一つが与川道です。この道は、中山道の三留野宿と野尻宿の間が水害により通行不能となった際の迂回路として用いられていました。与川道は当時の姿がよく残っていたため、現在は「歴史の道」として復元整備され、ハイキングコースとなつていきます。

また、与川地区にある白山神社では、春と秋に祭礼が執り行われ、今から百九十年ほど前の寛政年間に加賀白山の人が



白山神社祭礼の雌獅子の舞

伝えたという、雌獅子による典雅な悪魔払いの舞が奉納されます。さらに、中秋の名月には、かつて古典庵という僧坊があつた広場で観月会が開催され、その景色は、木曾八景の一つにも選ばれています。

当事務所は森林官一名、森林技術員一名、行政専門員一名の三名で、森林保全巡視・各種事業の監督・境界巡回などに従事しています。



与川森林事務所の三名（真中が著者）

健全な森林づくりというのには長い仕事ですが、自らが携わった仕事の後世まで残るといふのは、移り変わりの激しい現代において特別な仕事でもあります。また、森林官はじっくり山と向き合うことができる仕事でやり甲斐があります。

この他にも、林野庁には様々な仕事があり、私は、進路の一端に林野庁を是非お勧めします。

もり
《森林でのお仕事紹介コーナー（森林・林業）》

受注してくださる民間事業体あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業体からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



白鳥林工協業組合

上野 貴司

(二〇一六年入社)



爽やかな笑顔をバシヤ！
(上野さん)

■事業の概要

請負工事・請負事業・森林環境保全整備事業（保育間伐活用型 飛騨3小井戸）源地域整備工事

発注者・飛騨森林管理署

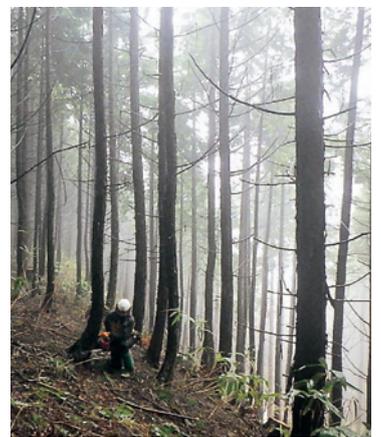
事業地は、高山市清見町の小井戸国有林で、植栽して五十年から

八十二年が経過したスギ・ヒノキ人工林です。保育間伐活用型の事業は過密になった森林の林分密度を調整し、伐採木を造材して搬出する事業です。人工林を手入れすることで質の良い木を育てると同時に、生物多様性や水源涵養、災害防止など様々な効果が期待できる森林整備事業で、暗かった森林が間伐により林床に陽の光が差し込み爽快な森林に変わります。

■現場での役割・魅力

自然が相手です。自らの判断に任せられることなど、やり甲斐は色々ありますが、伐倒や造材を行う時、生産する丸太にいかにも価値を付けるかをいつも考えています。材に傷を付けないよう伐倒方向に段差や岩がないか、芯抜きや斧目などを入れるか入れないか、合わせ切りの精度など、ちょっとした技術や判断のミスで丸太の商品価値を下げてしまわないよう常に心がけています。先輩に、「木の命を奪って飯を食べているという責任と感謝の心を忘れちゃいかん」と教えてもらいました。その気持ち

を忘れず日々頑張っています。



責任と感謝を心に、間伐作業

■林業土木の世界に入ったきっかけ

林業を始める前は、北アルプスの山小屋で働いていました。元々スキー・登山や山菜採りが趣味で、毎日山にいたいと思ったから単純にこの仕事を選びました（笑）。実際に林業を始めてみると物凄く奥が深く、三年経った今でも技術面のほかに作業手順・要領など、毎日が勉強で、とてもやり甲斐を感じています。

■未来の担い手へのメッセージ

常に危険と隣り合わせの仕事柄、作業の時は集中力・緊張感を維持し安全に作業することが第一です。自然の中での仕事で厳しいこともたくさんあると思いますが、それ以上にやり甲斐や楽しさを見つけることができる職場なので、まずは山を好きになってほしいです。

い。白鳥林工協業組合の山林部は、造林、素材生産を三班で実施しており平均年齢は四十歳で、技術を身につけようと真摯に山に向き合っており、とても活気のある職場です。自然豊かな職場で仕事はもちろん、山菜採りや、動物、森林浴などを通じて山への感謝の気持ちを育んでいってください。

また、白鳥林工協業組合では造林・素材生産等の川上の仕事と、製材・木材加工等の川中の仕事も行っており、地域の良質な木材の質感を活かした造作用集成材やフローリング等を製造しています。自分達で伐って出してきた木材が製材・加工され、製品となるのを見ることはすごく多くの発見があり勉強になります。



林業機械で集材作業

■事業の概要
請負事業・畑沢復旧治山工事
発注者・伊那谷総合治山事業所



自動追尾測量器を用いてワンマン測量をしている平栗さん

株式会社 内山組

平栗 ひろくり
大義 ひろよし
(二〇一七年入社)

シリーズ

「林業土木業界からの便り」



受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



施工途中の現場の様子

本工事は飯田市上飯田松川入陣ヶ沢国有林において○・三七鈴を練ブロック積土留工・丸太筋工・軽量植生シート水路工・軽量植生シート水路工水路工呑口・植生マット伏工・特殊配合モルタル吹付工・のり切工を主な工種として施工する山腹工の治山工事です。

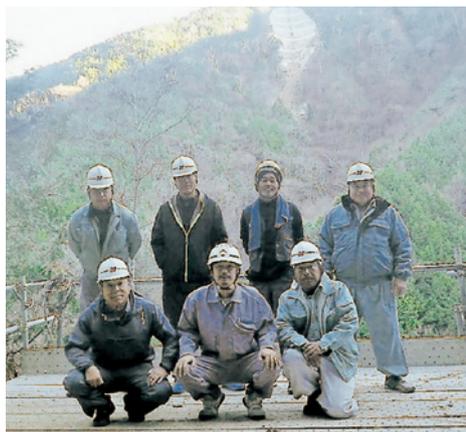
■現場での役割・魅力

現場代理人・主任技術者として発注者様との打合わせをはじめ、施工管理、安全管理、工程管理など現場の運営全般を行っていただきます。

設計に基づいて施工するのはもちろんのことですがその中でも崩壊の状況に合わせて工種の位置配分を調整したりとセンスが問われやりがいを感じます。また、重機などの建設機械が寄り付かないため大半が人力での施工となりますが、夏場は標高が高い涼しい自然の中で汗をかきながら仕事をすることもよいものです。

■林業土木の世界に入ったきっかけ

小さいときから森の中で木登りをしたり沢でカニを取ったりと自然の中で過ごすことが好きでした。以前勤めていた土木会社では街の中で仕事をすることが多かったのですが昔を思い出して森林など自然の中で働きたいと思うようになりこの業界に転職しました。



現場を背景に仲間たちと（前列真中が平栗さん）

森林の中で土木構造物を作るのはとても面白いです。現在は樹木の種類の勉強中です。
■未来の担い手へのメッセージ
林業、建設業における若者の人手不足は特に痛感しています。長く安心して働くための職場環境（休暇の確保など）をつくり、女性が活躍しやすい環境づくり（快適トイレの設置）を現在積極的に行政でも取り組んでいただいています。以前の3Kとちがいが、きつくない、汚くない、危険でないという環境づくりを積極的にやっているのが若手の方、女性の方、是非一緒に働きましょう。



上旬

①乗鞍高原の水瀑 (中信署 松本市)
善五郎の滝

落差二十以上の水瀑となり、普段では行けないところまで近づくことができま
す。天候により水瀑に亀裂や滝壺にクレ
パスができますので十分ご注意ください。
い。

三本滝

滝の落差は約六十メートルで積雪量が多く雪
に埋もれてしましますが三種類の水瀑が
見られます。途中、危険な箇所もありま
すので初めての方はカイド付きで行つて
ください。

②1日頃 (木曽署 木曽町)

白川氷柱群

冬季にのみ姿を見せる氷柱群で、岩肌
からつたつた御嶽の清水が厳しい寒さで
凍りつき、美しい氷のカーテンを織り上
げます。その大きさは最大で幅二五〇
センチ、高さが五十センチ、雪の白さと氷の青さ
が織り成す情景は、一瞬とかが止まって
しまったかのような息を呑む美しさで

す。夜にはライトアップされ、昼間とは
一味違った神秘的な姿を見ることができ
ます。

③インストラクターと行くスノーシュー
ツアー (北信署 飯山市)

信州いいやま観光局「森の家」で、ス
ノーシューやウインターブーツを貸出
し、雪のなべくら高原を楽しめます。



飯山市森の家提供

④1日 岐阜城からの初日の出 (岐阜署 岐阜市)

元日のみ、朝五時からロープウェイが
運行します。(金華山山頂の天守閣は六
時三〇分開城) 斎藤道三や織田信長な

ど、有名な戦国時代の武将も城主として
名を連ねた名城から、新年の幕開けとな
る初日の出を望むことができます。
「ロープウェイ初乗り」プレゼントもあ
ります。

⑤6日「六日祭」(長滝白山神社) (岐阜署 郡上市)

白山を霊峰とし全国各地に分布する
「白山神社」の中心的神社である長滝白
山神社で「六日祭」が行われます。

この祭りは勇壮な「花奪い」が行われ
るため、「花奪い祭り」とも呼ばれます。
「花奪い」とは、拝殿の高さ六尺の天井
に吊るされた五つの大きな花笠を人梯子
を組んで奪い合うもので、この花を持ち
帰ると、豊蚕、豊作、家内安全、商売繁
盛になるといわれています。(重要無
形民俗文化財)



中旬

⑥13日〜15日 野沢温泉の道祖神祭り (北信署 野沢温泉村)

日本を代表する道祖神祭りの一つ、
十五日の火祭りの攻防戦は見逃せませ
ん。(重要無形民族文化財)



⑦17日 広葉樹のまちづくりセミナー (飛騨署 飛騨市)

四回目のセミナーを開催します。
演題は「アウトドア」です。

下旬

⑧冬の松本城 (中信署 松本市)

二十六日から二十七日は、「国宝松本
城水彫フェスティバル」が開催されま
す。雪を頂いた北アルプス連峰がお城と
マッチして美しいこの時期に松本城を訪
れてみるのもいいですよ。

⑨かまくら祭り (北信署 飯山市)

毎年一月下旬から二月下旬までの約一
カ月間、雪で作られた二十基程の「かま

くらの」が登場します。夜は明かりが灯され、幻想的な雰囲気素敵です。



飯山市提供

⑩下旬頃、開田高原スノーシューティング (木曾署 木曾町)

冬の開田高原の人気ウインタースポーツ。霊峰御嶽山の麓で林道や白樺林の中など景色を楽しみながら新雪を歩くのは冬ならではの楽しみです。幻想的な雪景色が楽しめ、ストレスが減少し、免疫力もアップします。(問い合わせは、開田高原観光案内所、木曾おんたけ健康ラボまで)

⑪26日、木曾路氷雪の灯祭り

(木曾署 木曾路沿いの各市町村) 中山道の宿場町含む木曾路内の十二ヶ場に、手作りのアイスキャンドルや雪

像、氷彫が飾られ、訪れる人々を温かく迎えます。木曾地域全体として開催されるのは、十二回目で土・日曜を中心に、石畳や史跡などの古い街並みに明かりが灯され、風情ある散策が楽しめます。(開催日程等は、木曾広域公式観光サイトで確認を)



⑫さららの森原生林自然体験 (愛知所 設楽町)

奥三河ふるさとガイドが案内し、段戸裏谷原生林を散策できます。事前予約制。

⑬29日、30日中部森林技術交流発表会

(中部森林管理局 長野市) 国有林及び民有林の行政機関、大学・高校、林業事業体等が、日頃から行っている森林・林業に関する試験研究、技術開発、森林保全などの取組を発表し、技術・知識の共有及び情報交換と、成果の普及、森林・林業の発展を目的に中部森林技術交流発表会を開催します。



場所は、中部森林管理局三階大会議室、傍聴は自由です。是非お出掛けください。

【お知らせ】広報誌「中部の森林」のQRコードを作成

このほど広報誌とメールマガジンへのQRコードを作成し活用することにしました。

スマートフォンなどで読み取るだけで、簡単に中部森林管理局のホームページから、以前の広報誌などをご覧いただくことができます。

広報誌上での活用のほか、職員の名刺などに印刷して、中部森林管理局の取組などを説明するアイテムに活用してまいります。

局HP 広報誌へGO!



編集長だより あなたの写真を！お待ちしております

☆まもなく平成最後のお正月を迎えます。高い山は雪に覆われ、各所のスキー場もオープンしました。是非白銀の世界へお出かけください。

☆きれいな風景、場所を探しに国有林へ出かけて見ませんか。ステキな写真が撮れましたらmigoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。(1メール容量2MB以内)

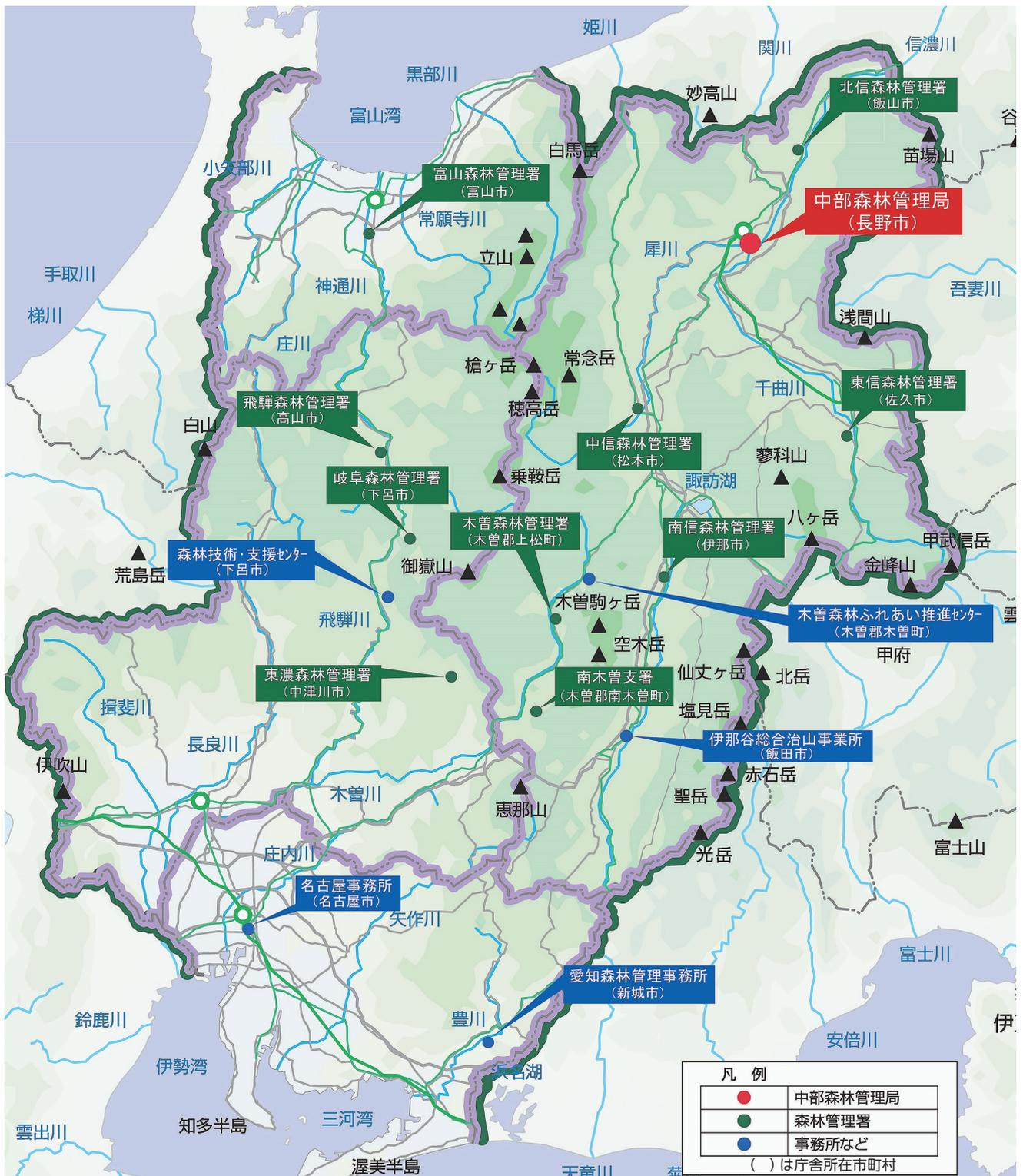
☆特にステキな写真は、広報誌「中部の森林」の表紙に掲載紹介させていただきます。あなたの写真が来月号の表紙を飾るかもしれません。投稿をお待ちしております。

あなたの写真が来月号の表紙を飾るかもしれません。投稿をお待ちしております。

ご投稿には、氏名又はニックネーム、整理番号(1月なら①～③のいずれか)、撮影日を記入してお送りください。感想やコメントを添えていただいても構いません。

☆森林でのお仕事紹介コーナー、学生さんの進路検討の参考になると嬉しいです。

出前での就職説明会もできますので、お気軽に最終ページのお問合せ先へご相談ください。



お問い合わせ先 中部森林管理局 〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5 TEL 050-3160-6507 FAX 026-236-2657

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曽森林管理署	〒399-5604	長野県木曽郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
※南木曽支署	〒399-5302	長野県木曽郡南木曽町吾妻3859-39	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曽森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曽郡木曽町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	FAX 0265-22-0149

※南木曽支署は平成31年1月（予定）まで庁舎工事のため上記に移転中です。